

「常陸大宮市子ども・子育て支援事業計画(案)」のパブリックコメント実施結果について

パブリックコメントの実施結果について、次のとおりお知らせします。
 貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

○パブリックコメントの実施状況

- ①意見の募集期間 平成27年1月13日(火)～平成27年2月11日(水)
- ②案の公表方法
 - ・市役所福祉課子育て支援室及び各総合支所市民福祉課で閲覧
 - ・市ホームページにて公表
- ③意見の提出方法 直接持参、郵送、FAX、Eメール

○意見の提出状況

		提出件数 2件			
内 訳	直接持参	郵送	FAX	Eメール	
		0	1	0	1

○意見要旨分類

第4章 子ども・子育て支援策の展

○意見の内容とそれに対する常陸大宮市の考え方

【意見1】

「3歳児健診時の専門医等の配置と5歳児健診実施について」

発達障害の早期発見早期支援の重要性は、日本自閉症協会等の強い働きかけもあり平成17年に施行された「発達障害者支援法」において、地方公共団体の責務として明記されています。発達障害は集団生活を経験しはじめる3歳児から4歳児頃に多くの子どもが気づかされる事が多いと聞いています。その気づかれる可能性の高い3歳児健診において、発達障害に関する幅広い知識をもつ小児科医、心理士、言語聴覚士を配し、適切に判断していただきたいと思います。また、5歳児健診はさらに発達上の問題が明らかになる時期で、就学前に適切な判断がされる事でその児童の生きにくさを軽減し、すべての年代を左右すると言っても過言でないと思います。すべての子どもがすこやかに成長できますよう特段の配慮をお願いします。

【市の考え方】

本計画の中では、子どもや母親の健康確保の事業として、母子保健法に基づいた1歳6か月児健診、3歳児健診を実施し、3歳児健診では、専門医等を配置し、心身の発育・発達の支援をすることとしています。3歳児健診以後、就学までの期間において、特に健診は行っておりませんが、心理専門員・保健師等で子育て相談を実施し発達上の問題がある子の早期発見に努め、必要に応じ関係機関との連携を図る事業計画となっています。

【意見2】

「茨城県子育て支援リーダー養成事業に参加して～」

- ・CSP(コモンセンス・ペアレンティング)講師研修セミナー終了
- ・子育て支援リーダー認定予定 ・「怒鳴らない子育て」で笑顔の多い子育てのまち。常陸大宮!

茨城県全体で子育てを応援する取り組みである、子育て支援リーダーの養成講座を受講しました。私自身も保育士をしながら、3人の子育てをしています。子育てにおいて大切な事、それは笑顔の時間が多い親子関係ではないか?子育ての方法で大切なしつけも心にゆとり持ちながらできる方法、怒鳴らずにできる子育ての方法、そのような子育ての方法、技法をできるだけ早く知る事が、親子関係においていかに大切であるか?支援リーダー養成講座で、子育てに関わる保育士、児童福祉司、保健師、心理士等の専門分野の方々とともに「怒鳴らない子育て」を習得しながら今後の子育て支援について意見交換、情報交換をしてきました。そして、県が取り組もうとしている今回のこの事業が、今の常陸大宮市においても重要な支援であるのではないかと強く感じました。子育ての方法がわからず悩む親のために、また、その子どもたちのために、子どもの問題行動を減らし、望ましい行動を効果的にしつけられるスキル「コモンセンス・ペアレンティング(csp)」を子育て支援等で広げてみてはどうでしょうか?他の市町村では、すでにcsp講座が行われて、大きな効果を上げて子育てに役立っているようです。

【市の考え方】

本計画の「地域における子育て支援サービスの充実」の事業計画の中の地域子育て支援拠点事業・家庭児童相談事業等で、子育てに悩む親の支援を実施する計画としています。